

住田代表理事の「カンボジア回顧録」はお休みさせていただきます。

■スレイ・ヴィボケイ中学校・奨学金贈呈式・成績優秀賞・努力賞表彰式(続き)

住田理事長の挨拶

「音楽の授業が無いのに、皆さんの歌が上手くてびっくりです！驚きました。みなさんの学校を建ててくれた大江電機様が、今回もSSFCを応援してくれています。その協力でSSFCは皆さんに奨学金給付と先生の指導向上を支援できます。SSFCは皆さんの学力向上に努力します。」

大江電機・大江光正社長の話

「私は今までに何回もカンボジアに来ています。来るたびにプノンペンが繁栄しています。みなさん“なぜ勉強をするか”について考えてください。それは大人になった時にどういう仕事をしたいか、どういう生活をしたいか、私はこの校舎の名前を“自分の夢を実現する学校”としました。

皆さん！自分の夢を実現するために、勉強してください。」

ホーン・ブンゴーン校長の挨拶

「支援にいつも感謝しています。ヴィボケイ中学は2009年、生徒94人・先生6人・小学校の2教室を借りて始めました。2012年、住田さんが以前の団体(SAJ)に居た時、大江電機様の寄附で校舎5教室を建ててくれました。2018年の今では生徒200人・先生8人の学校になりました。11月からは奨学金と先生の指導力向上支援をしてくれます。有り難いことです。私はいつも感謝しています。」

ソッ・ティアリー、バクコン郡教育長の話

「6年前にこんな貧しい田舎の小・中学校に鉄筋校舎8教室も建てていただいた嬉しさは、今も忘れません。校舎贈呈式には私も参加しました。今日はまた、SSFCの奨学金給付と、先生の指導力向上支援をして下さり心からお礼申し上げます。日本に留学して日本の会社で働いているカンボジア人のリムさんの話は、生徒に、“努力すれば夢がかなう！”という良い手本を見せてくれました。生徒の皆さん、自分のためカンボジアの発展のために勉強しましょう。頑張りましょう！」

生徒代表のお礼の言葉(ジェット・ピー・中3・男・18才)

「授業が良く分ると楽しくなります。ヴィボケイ中の生徒全員勉強に頑張ります！奨学金を頂いてありがとうございます。両親も大変喜んでくれます。自転車も頂いたので、これまで1時間かかっていたのが、今では15分で来られます。勉強を今以上に頑張ります。奨学金をいただく生徒はもちろん、優秀賞・努力賞が取れるように、生徒全員勉強に努力します。」

この後、カンボジアの木琴とボンゴ(太鼓)の演奏を演奏してくれました。とても上手でした。カンボジアに昔から伝わるお祭りの歌の演奏でした。木琴の音色とボンゴの響きに会場の皆が聞きほれました。「たった2時間の練習しか出来なかったのですが、上手くて私もびっくりしました。」と指導した英語のソック・リンダ先生が話してくれました。



◇ご支援をお願いいたします。

教育環境を整え、貧しい子に教育の機会を提供し、先生に指導力の向上のお手伝いをしています。SSFCの活動へのご支援をお願いいたします。寄附金のお振込みは、右記からお願いいたします。

■三菱UFJ銀行 神保町支店
口座番号(普) 0968555
■ゆうちょ銀行 00110-2-767497
口座名: 公益社団法人 SSFカンボジア

詳しい解説・近況報告はSSFCホームページに掲載(ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/>)しております。ぜひご覧ください。右のQRコードからもアクセスできます。お問い合わせは、TEL: 03-6272-5717 FAX: 03-3511-5019 E-mail: info@ssf.or.jp



※活動内容の報告(バックナンバー)はホームページ「<http://www.ssf.or.jp/>」にも掲載されますので、ぜひご覧ください。



ក្រុម によにゆむは、カンボジア語で「笑顔」という意味です。
によにゆむ通信
 2018年12月号 No.12

公益社団法人
Sumita Scholarship Foundation, Cambodia
(SSFC) 代表理事 住田平吉
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-44
第二石坂ビル502
TEL: 03-6272-5717 FAX: 03-3511-5019
E-mail: info@ssf.or.jp
ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/>

◆カンボジア教育省・ハン・チュンナロン大臣に住田理事長がSSFCの活動報告。

(1)奨学金給付

シェムリアップ州アライン・ランサイ中学・スレイヴィボケイ中学の生徒は成績が良く学習意欲もあるが、貧しさのために学校を辞めざるを得ない生徒たちなので、生徒本人や親、養い親から非常に喜ばれ感謝されている。

(2)先生の指導力向上支援

シェムリアップ州アライン・ランサイ中学校で2年間、新規に同州のスレイヴィボケイ中学校、コンボンチュナン州ポットロン小学校の3校で行っている。

ランサイ中学校では2年目になる昨年7月8日に、授業発表会をバクコン郡の13中学校の先生を対象にして行った。州・郡教育長・郡長・村長を始め65人の校長や先生が参加してくれ、活発な授業発表・研究会になった。ランサイ中学校では、先生は「生徒がよくわかる授業」が出来るようになった。生徒も自分で考え意見が言えるようになった。先生が良い授業をすれば、生徒も授業に集中しよく考え理解できる手本を見せることが出来た。

(3)指導に必要な教材教具の支援

上記の2校に、数学の授業に必要な大きな教師用の三角定規・分度器・コンパス、地理や理科に使う地球儀・磁石・方位磁石、理科実験用のフラスコなどガラス器具多数、刺繍道具生徒分一式等を贈呈した。これらはカンボジアでは手に入らないので先生に大変喜ばれている。生徒には、目で見て実習を通して理解でき、予想した考えが実験の結果で証明されるので、納得した授業になり理解する上で非常に役立っている

◆「先生の指導力向上は急務です。SSFCの支援に感謝しています。」

(ハン・チュンナロン教育省大臣のお礼の言葉)

長い間カンボジアを支援してくれてありがとう。また、新しい団体を創ってカンボジアの教育支援をしていくことに感謝しています。それもプノンペンから遠い、カンボジアでも貧しい地域のシェムリアップ州の村で教育支援してくれる団体は他に有りません。

SSFCが支援している教育内容は、カンボジア政府・教育省が目指している方向です。先生の指導力向上は急務です。教育省としても州に拠点校をつくり、力を入れているのですが人材不足で効果が上がらないのが現状です。私も地方の学校を視察して、貧しいために退学して働かざるを得ない優秀な中学・高校生生徒が居ることを聞いています。これは国の損失と考えています。SSFCがその様な生徒に奨学金をくれて勉強が続けられることを、私からもお礼を言います。教材教具も必要です。SSFCが行っている3つの支援は素晴らしいです。ぜひ広めて欲しいです。私も協力します。

アライン・ランサイ中学の先生の指導が素晴らしいと州教育長から報告があり、州の優秀中学に推薦されています。12月24日に教育省スタッフと視察に行きます。先生の指導力が向上した事、生徒の学力も向上し行動も良くなったことを、実際に目で見てきたいです。

その報告もしますので、また来てください。SSFCの教育支援に感謝しています。

◆スレイ・ヴィボケイ中学校・奨学金贈呈式・成績優秀賞・努力賞表彰式

「200人のきれいな歌声に教育の進歩を感じました」

司会の生徒が全校生徒に式の内容と進め方を説明して、贈呈式・表彰式が始まりました。

式の始まりは、民謡「サワダ・クメイ」の生徒全員の合唱でした。カンボジアに昔から伝わる民謡で長い歌でしたが、生徒全員が真剣に歌い、200人の声が揃って、とても綺麗な声で歌いました。

音楽の授業の無いカンボジアの中学で「こんなに上手に歌えるのか!!」と、私は感激し歌に聞き入りました。18年間の教育の進歩を改めて感じ、感無量でした。(表4に続く)



ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/>

◆奨学金受給の決定した生徒の話を紹介します。

支援者の大江様一行と、奨学金給付生徒の家を訪ね、近頃では見られなくなった、電気も無く粗末なヤシの葉のとても貧しい家に驚きました。

時間の都合でヴィボケイ中学校に近い4家庭の訪問でした。それぞれの親からは「私は読み書きができません。子どもには勉強をさせたいです！！」と、子供に教育を受けさせたいという気持ちがひしひしと伝わってきました。

大江さんは、「父母が良く働き、教育熱心なので応援します。

ここに居るリムさん(大江さんの会社の社員)はカンボジア人だが小学生の時から勉強を努力して良い成績を取ったので、日本政府の奨学金で日本の大学で勉強した。努力すれば良いことがある。頑張ってください。」とエールを送っていました。

①リー・ソック(中3・15才・女)

母はソックが3才の時病気で亡くなった。父親は再婚し、新しい母とウッドミンチェイ州に出稼ぎに行き家に戻ってこない。祖母と小学校6年の妹と私の3人で祖母の家で暮らしている。祖母の収入は無く、父母がたまに米を買って送ってくれる。

生活が出来ないのでソックが田の手伝いをして月に12\$くらい稼いでご飯を食べている。結婚した姉が時々来てお金を2~3\$くれる。勉強を頑張っているので成績は良い。3年生63人中2番。「勉強がしたい。高校にも行きたい。」と言っていました。

②コーン・テムム(中2・15才・女)

父親は、自称81才無職、母:継母50才2Haの田の世話をしている。3人兄妹。兄2人は家を出て働いている。3人家族で1年間食べられる米がとれる。

テムムは日曜日に他の農家の牛の世話をして、1ヶ月15\$稼いで学用品などをかう。1日2時間くらい勉強している。成績は学級で48人中2~3番。物理・科学・英語が好きで、将来は物理の先生になりたい夢を持っている。質問にもはきはき答えて利発そう。

③スーン・ダン(中1・12才・男)

父親は、田畑を持っていないので、農家の手伝いをして1年間に米を210Kgもらう。農作業の無い時は建設工事場で働き1日5\$、月に70\$くらい稼ぐ。夫婦で働き者。

父親は学校に行ったことが無いので読み書きができない。母親は小学校3年で学校を辞めた。4人の子どもには教育を受けさせたいと思っている。

家には電気が引いてないので、ダンには家に帰ったらすぐに1~2時間勉強して、田畑の仕事を手伝う。

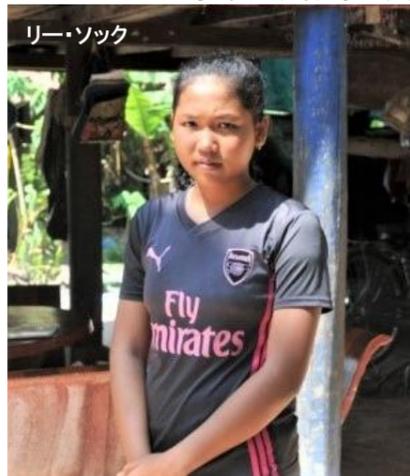
④ピースレイ・トゥ(中1・13才・女)

父は病死、母は62才。農家から頼まれた牛の世話をしているが、まだ収入は無い。5人兄妹の5番目。兄妹の送金が月12~20\$あり、その金で生活している。

ヤシの葉で作った家に住んでいる。母は兄妹には学校に行かせられなかったので、トゥには教育を受けさせたい。しかしお金が無いので諦めていた。

SSFCから奨学金がもらえて感謝している。母が質問応えられない時はトゥが答える。利発そうな生徒である。将来は学校の先生になりたい夢を持っている。

※学年は取材時です。



⑤ジェット・ピー(中3・18才・男)

両親は健在で農業に精を出す働き者。働いて貯めたお金で少しずつ田を買い、1haの田を持っている。父親は学校に行けなかったの、読み書きができない。母親は小学校を4年で辞めて働いた。姉はシエムリアップの専門学校に通っている。

ピーは通っていた小学校の先生が自習ばかりで勉強を教えてくれないので、4年の時に自分で転校した。その学校で2年生から勉強をやり直した。家では毎日1時間以上勉強している。中学1年からずーと学年1番の成績を取っている。性格は積極的で努力家。礼儀正しく誰からも好かれている。先生全員が彼を推薦した。奨学金をもらったので両親も喜び、ピーも更に努力することを約束した。

⑥ウーン・ソペアツ(中2・15才・女)

農業をしている両親と3人姉妹の5人家族。少しずつ買い足した田は2haになっている。5人家族で1年間食べられる。姉は縫製工場働き、たまに仕送りしてくれる。

ソペアツは、畑仕事を手伝う。小2の妹の面倒を見る。毎日1時間は家で勉強する。成績は49人中6番。

⑦コン・サイ(中2・13才・女)

家では田を1ha持っている。両親は無学なので、子どもの教育に熱心。長女・次女は師範学校に通っている。3女は高校3年生、妹は小学校6年、それに私なので生活は苦しい。

農業の他に父親は工事場で働き、母親もヤシ・ジュースを売っている。サイは毎日1時間家で勉強する。成績は49人中6番。

⑧ケツ・ヌーン(中1・15才・女)

父親は病死、病名は不明。母親は出稼ぎに行っているの祖母と暮らしている。祖母は働けないので、仕送りで暮らしている。

ヌーンの兄弟はいない。毎日家で勉強を1時間以上している。成績は45人中8番。

贈呈式後の昼食懇談会で。

参加者: ヴィボケイ中学校長と先生全員、ランサイ中学校長、支援者の大江様一向とSSFC

朝から来て一日中世話をしてくれていたランサイ中

ブローン・ブロン校長の話

私はSSFCに2年間教えてもらって、自分が変わった。時間の使い方、教員としてすぐに対応しなければいけないこと、家庭と仕事をわけることなども教わった。

今回は、ヴィボケイ中学の運営の仕方や良いところを学びたくて来た。贈呈式はとてもよくできたと思う。ランサイ中学に今日の体験を持って帰りたい。

大江社長の話

贈呈式では生徒が姿勢を正して聞いていた。生徒を見ると先生の日ごろの指導が良いことがわかる。こういう学校を応援できるのは幸せだ。

竹松社員: 生徒の眼がキラキラ輝いている。授業参観するのが楽しみだ。

リム社員: 夢を持つ生徒に育ててほしい。先生の授業への努力を期待しています。(今回、カンボジア人で苦学生の彼の成功体験を披露しています。)

